

みると、中々善良ない人間ですね、どうい
う人間の、人間の悲哀感というもので、私はね
そりうりもの、ものすごくひかれたんですよ
人間的に、人間の悲哀感というものの、どうにも
ならないものね、そういうものの、心ひかれま
してね、なにかさういうものの底から、救わ
れるような、なにかつくってあげないかなな
と、マ、こういうことを考えておったわけな
んですよ。

たまたま最初、暴動の事件をあのあたりに
見てですね、そして、私がこの「せんりつ」
という詩を作ったんですよ。

松原さんの詩「せんりつ」を見た労働
者の中から二人の協力者があらわれ、文芸サ
ークルを作ろうという話が進んだ。このこと
事件の翌年の一月、松原さんを主宰者に裸の
会が生まれ、機関誌として裸が創刊された。

松原君 その時、井上青龍氏もね、これに協
力してくれてね、その創刊号するときがり切
り左手伝ってくれたりしてくれましてね、そ
れを今みたら、みな筆跡が違ひますからね、
創刊号だけは本当に思ひ出のある雑誌ですね。

アナウンサー 井上さん、あの事件以後です
ね、労働者の中でも組合を作ろうという動き
がおこったんだそうですね。

トヤを現住所としてリリから、で、手帳の発
行、それで冬場は、三角公園、テントをはり
ましてね、そこに無料で宿泊させる。それで
正月には越冬の炊き出しとか。

アナウンサー 最初百五十人でスタートした
組合が、町中に八百人ぐらひまでになる、マ
大変な力になるわけですね。

井上青龍 なんかの時にデモをかけるとかね、
アナウンサー それはどこへ行くんですか。

井上青龍 それは市役所とかね、我々の事務
所は郡さん、あのとなりでしたからね、山さ
はほったて小屋か、そのすぐとなりにあった
わけだから、押しかけるといふより、ラン、
ま、郡さんにしたら押しかけられたと思うか
もこれませんね、マ、ずいぶんつるしあげに
は行きましてよ。

アナウンサー 分室ができたことによつてで
すね、暴力手配師は大部少なくなつたんです
か。

郡君作 あの当時はね、ええ、山田組が、
名前いうてもリリかんけれども、マでますから、
二百人、それから山桜組でいうて天王寺公園
を根城に百人、合計三百人ぐらひ手配師がお

井上青龍 ええ、そうですね、あの組合の結成
には、もう僕は最大の期待をかけておつた。
望みをかけたというか、マ、僕はあの組合結
成大会には、マヤはり写真の社長で、写真を
とらしてもらいに行つたんですね、そうする
と、マ組合ができたなら、その組合の写真部に
なつてくれと、マおたりに舟で、ということ
は僕が組合に入つたことによつて、初めてカ
メラが、ノーファイナインダーから、あるいは
ところから外に出て、堂々と写真がこれるこ
とになつたというか、そのリリカメラが
つたんですね。マ写真をとるだけじゃすま
なくなつた、本当にリリんな活動に僕自身参
加せざるをえないというか、僕の心情的に、
僕はカメラを捨ててもやろうというか、ウ
ン、大会の翌年で、委員長がツカサ君という、
なんか日大の大学出なんですよ、インテリ、
理論者で、それで副委員長が手配師あかりの
サトウ君という、マア見事におもしろい、こ
う、コンビ、組合わせというか、マ、まさに
その二人の組合わせの時、拍手喝采というか
ね、どつとわいたんですね。

アナウンサー 行政とかのかかわりはリリがだ
つたんですね。

井上青龍 マア、そのころからでも大部分が
住所不定者であるし、だから当然失業保険も
健康も、なにもとれないから、今、住んでる

つたわけですね、ところが、その手配師たち
が労働者のあひだに混じつて、なんでも
分室をつぶさなリリかん、これが大事だとい
うんで、色々戦術をもつてきましてね、一
番の大きな戦術で困つたのは、山田組の方が
よかつた、このリリ、ピンハネされて残り
のもらつた賃金の方が、分室のリリま紹介して
いる賃金より高かつた、このリリかんです、
これはええ戦術です、ま、こうしては、うま
い、ええ戦術をそつてきよつたなと思つたけ
れども、リリ、そんなことあれへんで、分室
の方が今の高いんやで、というたが、それで
わあつという。

あの日雇りの組合でも、副委員長さんがぜ
っぽり手配師とつた方ですからね、これは
はじめはこれは日雇、組合のためにできた分
室、リリ、日雇の組合だから、日雇のために
努力する分室だから、協力してもらえろと思
つたら、はじめのうちはどつこい、それはリ
リかん、毎日つるしあげにくるわけですね。

アナウンサー 組合はこの紙が物語ることく
まさにやぶれんとしてける状態である、とい
うボスターといひますかね、はり紙が出たわ
けですが、これに象徴されるように、リリ
かん短期間で組合も衰退していくわけですね。

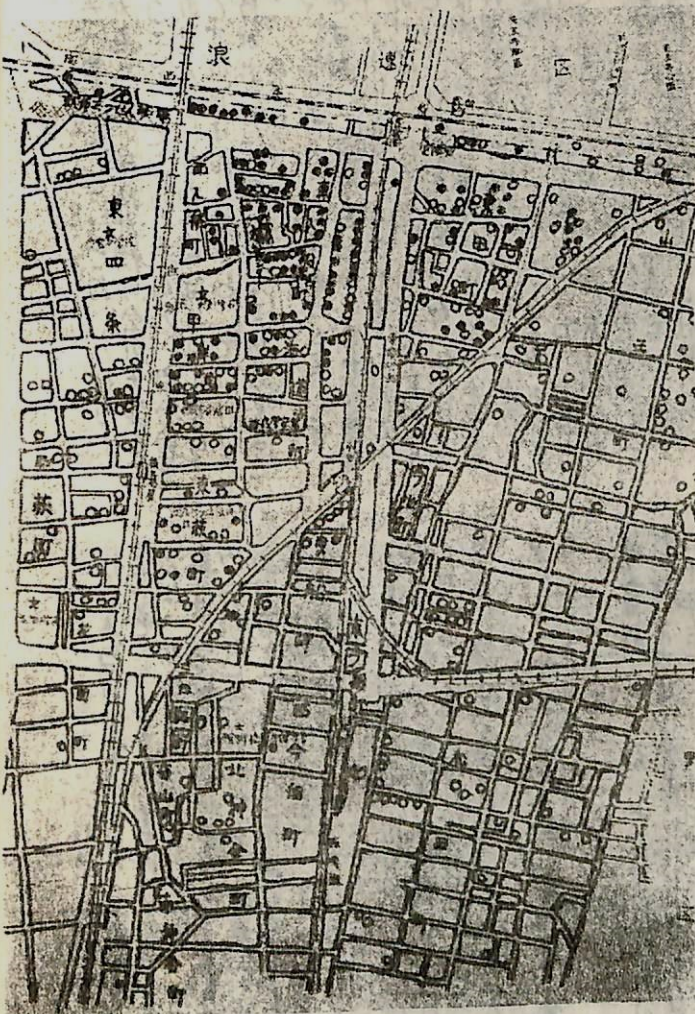
井上青龍 ええ、まことに残念というか、当
然のことというか、マ、一つに、組合の小さ

政のあり方、それに対応した人間性の問題、それは何一つかわつてなれと思ひますよね、ええ。

— その後も事件はくりかえされた。警察のまとめでは、昭和四八年までに二一回に方

りま、二十年前にくらべ街の外観は一変した、事件があつたたびに行政による、福祉や

〔釜ヶ崎地区、簡易宿所・日払アパート・旅館分布図〕



労働対策も少しずつ進み、名前もいろいろ地区と呼ぶ。かつてのトヤまは、今はビルに姿をかえはじめてた。しかし、いくら街のよどみがゆるつと、ここがあれいかに多量最大の日雇労働市場であることをいかにめりはな

現在、日雇労働者の数は一万八千人余りといわれている、そのうち、住居登録をしてゐる人は二十％にすぎない。

●印は求職登録者のいるドヤ
○印は一般旅館をも含むその他のドヤ

＜1964年作成＞

三ッポン釜ヶ崎の新しい地図になつて、大分平穏な